



せたがや 介護ネットニュース

第 62 号

発行日：平成 29 年 10 月 31 日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

玉川地域部会VR認知症体験研修を開催しました

平成 29 年 8 月 4 日 19 時より、玉川区民会館第一会議室で、認知症の疑似体験をバーチャルリアリティ (VR) を使用して体験し、その思いを共有しました。総勢 41 名の方が参加してくださり、非常に有意義な時間となった事と思います。講師をして下さったのは、株式会社はシルバーウッド代表取締役下河原氏、このVRの作成過程

や作成秘話を熱く語っていただきました。また、認知症の方の日常生活を支えている施設の紹介もあり、高齢者とその地域の子供、またその親の世代を巻き込んだ施設の運営方法等も説明してくださいました。

VRは、3部構成となって



いて、第1部はデイサービスの送迎場面、第2部は知人宅に訪問した場面、第3部は電車で外出している場面を想定した内容で、体験後にグループワークも行われまし



た。それぞれ、本当にその場にいるような臨場感と、認知症の方々が様々な場面で、どのように見え聞こえ感じ、周りにいる人達のどのような声のかけ方や対応で救われるか、とすることをすることが出来ました。

玉川地域部会では、今後このように研修会や懇親会などを企画していきたいと考えておりますので、多数の皆様にご参加して頂くことを願っております。

玉川地域部会 佐伯正和



烏山区民文化祭に参加しました

平成 29 年 10 月 14 日（土）烏山区民文化祭に参加しました。烏山地域部会として今年で 2 年目の参加になります。区民センター前広場のテント内で①介護医療相談②100 円マッサージ③高齢者障害者体験④福祉用具販売、杖のメンテナンス⑤セラピーロボットアザラシのパロちゃんの展示を行いました。介護医療相談では、「相談するようなことかどうか分からないのだけど」と声をかけてくれた方がいて、あんしんすこやかセンターにつなげました。100 円マッサージは昨年に引き続き大好評、ご希望の方が途切れる事なくいらっしやいました。高齢者障害者体験では、「こんなに歩きにくいとは思わなかった」など多くの感想をいただきました。



集客に大きな力を発揮してくれました。

隣のテントの方々と交流したり、以前訪問していた方のご家族が遊びに来て下さったりと文化祭の活動を通して地域とのつながりを体感し、また、介護サービスネットワークって何？と数名の方から聞かれ、興味を持ってもらっていることも実感できました。来年以降も継続して参加していきたいと考えています。



子供たちにも積極的に体験してもらい、「お年寄りの方や杖をついている方を見かけたらやさしくする！」などかわいらしい感想もありました。また、杖をガムテープで補強して使用しているご夫婦をお見かけし、杖のメンテナンスのコーナーへご案内させていただきました。福祉用具専門員のアドバイスを受け、とてもうれしそうにされていたのが印象的でした。パロちゃんも昨年と同様に大人気、私たちのテントへの

集客に大きな力を発揮してくれました。

烏山地域部会 酒井美知子

世田谷地域部会 「第 5 回若林クラブフェスティバル」 参加報告

平成 29 年 9 月 24 日（日）に「若林クラブフェスティバル」に参加しました。

若林クラブとは若林地域を中心に活動する総合型地域文化スポーツクラブで、17 の参加団体を有するそうです。非営利の文化・スポーツ活動を通して一生懸命にわたり、人づくり、健康づくり、生きがいくくり、絆づくり、まちづくりを実現することを目指しています。

世田谷地域部会は若林あんしんすこやかセンター、若林地区社会福祉協議会と協同して車椅子体験と福祉用具展示、介護食の試食会、介護相談などの福祉体験講座を実施しました。普段はあまり食べることのない介護食の試食では、10 種類以上のメニューを用意しました。



やわらかく調理されたレトルトの親子丼やすき焼き、煮込みハンバ



ーグなどは子供にも好評でした。車椅子は緩やかな坂道を使って操作・乗車体験をしました。初めての方には、介護のプロがしっかりポイントをお伝えすることが出来ました。

午前中の 2 時間だったので短い時間でしたが、年配の方から子供まで幅広い人たちと交流することが出来たと思います。今後も様々な活動を通してたくさんの繋がりを作っていきたいので、世田谷地域部会に協力していただけるメンバーを募っています。ぜひご参加ください。

世田谷地域部会 徳永宣行

訪問介護連絡会 平成 29 年度第 1 回定例会報告

平成 29 年 9 月 12 日（火）19:00～20:45、梅ヶ丘パークホールにて、訪問介護連絡会第 1 回定例会を実施しました。テーマは「制度改正に向けて現状の課題を事業者同士で語ろう！」。

前半は、世田谷区介護保険課事業者支援担当係長より①平成 30 年度以降の世田谷区の総合事業について、②厚労省訪問部会資料を基に訪問介護報酬改定の方向性について、最新の情報をお話いただき、後半は車座にて全員の率直な意見交換を行いました。当日はあいにくの雨で参加者は申込みを下回り 16 事業所 18 名でしたが、ケアマネージャーやあんしんすこやか職員の出席も得て、具体的かつ深い話し合いが出来ました。総合事業については指定更新手続きの質疑、包括報酬の是非や担い手育成等今後に向けての検討がなされ、又現状の課題については、生活援助の考え方、人材不足と確保対策、経営の多角化、実地指導における指摘内容、記録保管の電子化等、多義にわたる情報共有が出来、今後の対策のヒントを得る機会となりました。



今回の内容については、現場の声を行政に届けるべく、介護サービスネットワークより報告書を区に提出致します。

訪問介護は事業所数が多く経営規模も様々ですが、課題については多くの共通点があります。解決に向けては、同業他社、他職種、保険者の方との情報・意見交換はとても有効です。訪問介護連絡会は、各事業所が正確な情報を得て今後の方向性を考え、サービスの質の向上と安定した事業所運営が出来るよう、今後も定例会の内容を充実させていきたいと考えています。要となる管理者・サービス提供責任者の皆様、忙しい毎日ですが、明日の活力の為にぜひご参加ください。

一緒に世田谷スタンダードモデルを構築してゆきましょう！

訪問介護連絡会副代表 塚原洋子



せたがや通所連絡会研修 「介護事業所における災害時の対応 一事業所再開の取り組みとは一」

平成 29 年 9 月 26 日（火曜日）に、せたがや通所連絡会の主催による「介護事業所における災害時の対応」の研修会を開催しました。

当日は通所事業所以外にも居宅、小規模多機能、施設など様々な分野の方々の参加があり、26 事業所 29 名の方に参加を頂きました。

跡見学園女子大学 コミュニティデザイン学科教授、一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会代表理事の鍵屋一先生を講師に迎え「介護事業所における災害」についての研修でした。

研修では、「なまはげ」は、実は地域の住民の状況を把握し、もしもの時の助け合いコミュニティを構築しているというお話しが冒頭にあり、東日本大震災、熊本地震、全国で発生している水害等の検証から、避難の大切さ、地域コミュニティの役割、防災計画作成の

意義等を導き出しました。歴史的にみても必ずと言っていいほど発生する災害に備えて、介護施設は「事業継続計画」を作成する必要があり、「事業継続計画」の作成の方法論も教えていただきました。為になって、考えさせられる研修でした。

研修後には世田谷区介護保険課の鈴木係長より平成 30 年度の世田谷区総合事業についての検討状況の報告がありました。

世田谷通所連絡会では幹事職員を随時募集しており、介護研修に興味がある方や他事業所と情報交換したい方は気軽に声を掛けて頂けたらと思います。

デイ・ホームたまがわ 菊本浩三

「在宅での看取り、施設での看取」研修グループ研修報告

平成 29 年 9 月 9 日成城ホール集会室 CD にて桜新町アーバンクリニック院長遠矢純一郎先生の「在宅の看取り」の講演に引き続き、エイジング・サポート代表取締役小川利久氏による「施設の看取り」の講演会を開催しました。その後、ノンフィクションライター中澤まゆみさんのファシリテーションでディスカッションを行いました。

中澤さんのお母様がこの日より、わずか 12 日前に 93 歳で自宅で亡くなったとのお話から始まり、命をつなぐことをテーマとしたディスカッションになりました。

お母様の人生最期を支えるチームの約束事は「救急車を絶対に呼ばない」でした。「全てが安心に順調に進んだ訳ではなく、自分自身に悔いが残った」と言う中澤さんですが、看取りは実に個別性が高いことも再確認でき、支えてくれた多職種チームの連携によって「自宅で良い看取りができた」と中澤さんはお考えのようでした。



その理由は弔問に来た近所の方々が口々に言ってくれたのは「自宅で死ねて幸せだったね。な

かなかできないことだよ」という言葉でした。

小川氏も「施設（自宅）で死ねてよかった」という言葉を、施設の看取りの中で、たくさん聞いて来た「施設はもう一つの自宅」だと思うからだと、小川さ



さんは話してくださいました。

遠矢医師が「病院から自宅へ帰って来た患者さん」の喜ぶ姿に励まされたように小川氏にとっての施設は病院へ入院したご入居者の「帰りたい生活の場」でした。「帰りたい」という表現は「自宅」へ向けられる言葉です。「在宅の看取り」も、「施設の看取り」も「地域居住」の中にあります。『住み慣れた街でいつまでも「Ageing in Place」を合言葉に生ききるまちづくり！』それが超高齢社会を生き続けるために必要であるというのが、遠矢医師、中澤さん、小川氏のお話の中に共通していました。人生を生き抜いた方々の最期には必ず感謝のご言葉がありました。

『「ありがとう」という言葉は、看取りを支えた人々に対するご褒美、「看取りギフト」です』という中澤さんの締めくくりの言葉が印象的でした。参加者 99 名が感動した 3 時間でした。

研修グループ代表 宮川英子

講演会のお知らせ

世田谷区からのお知らせ

福祉用具に関する講演会にご参加ください

日時 平成 29 年 11 月 16 日(木) 午後 6 時 30 分～8 時 30 分

会場 砧総合支所内 成城ホール（世田谷区成城 6-2-1）

（小田急線 成城学園前駅下車 徒歩 4 分）

テーマ 「平成 30 年度介護保険制度における福祉用具貸与の改正点について

概要 平成 30 年 4 月からの新様式「福祉用具サービス計画書」が提示されました。厚生労働省老健局高齢者支援課の指導官と、一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会の講師より、平成 30 年度の制度改正点等をお伝えします。講演会のご案内はホームページにも掲載しています。

<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/105/880/890/891/d00141992.html>

参加費 無料、事前申込み 不要。 ※当日、直接会場へお越しください。

【お問い合わせ先】 介護保険課 保険給付係

《電話番号》 5432-2646

せたがや福社区民学会第9回大会 参加報告域部会

平成29年10月1日(日)「せたがや福社区民学会第9回大会」が昭和女子大学で開催されました。区内で活動している様々なグループや学生が参加して、

世田谷区介護サービスネットワークからは烏山地域部会と世田谷地域部会の2グループが口頭発表をしました。また、辻本氏がポスター発表の助言者として参加しました。

烏山地域部会の発表では「烏山ファースト」と題して、



高齢者だけではなく障害者も含めた地域まるごとケアを考える集まりを開催したり、烏山地域文化祭への参加、防災イベントの開催などの活動報告をしました。

世田谷地域部会の発表では「地域のインフラとしての可能性」として、事業所PRイベントの開催や地域のお祭りに参加などの報告をしました。

どちらの発表でも事業所だけでなく多職種、地域住民など様々な人と繋がることが地域包括ケアシステムでは必要不可欠であることがわかりました。

世田谷区介護サービスネットワークでは、これからも顔の見える関係をつくるために、私たちから積極的に発信をしていきたいと思っています。

世田谷区介護サービスネットワーク
代表 徳永宣行

北沢地域部会「第42回雑居まつり」に参加しました

平成29年10月8日(日)に羽根木公園で開催された「第42回雑居まつり」に相談員ボランティアとして参加いたしました。

初めての雑居まつりの参加で不安や緊張もあり



ましたが、天候にも恵まれ多くの来場者の方と出店団体の方で大変賑わいがあり、部会の皆さんと楽しむことが出来ました。

チラシを配っている際、どの方も優しく声を掛けて下さり、北沢地域部会の出展ブースにも多くの方々が立ち寄って下さり、血圧測定・アロマハンドマッサージ・ヘアセットを体験して頂きました。

参加させていただいたことで多くのことを教えて頂き、また出展団体の方との繋がりもでき、今後は私たちも地域に根付いた活動が出来るよう努力していこうと改めて感じる事ができました。来年度も参加し多くの方との繋がりを大切にしていきたいと思っています。

Sweet medical support 訪問介護事業所
保戸田美雪

研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

◆【研修グループ】☆

- 1) 映画上映会「ケアニン」と「あおいけあ」の加藤忠相氏のトーク

平成 29 年 11 月 18 日（土）13：00～16：00

会場：烏山区民センター集会室

申し込み不要・参加無料

- 2) 「明日から役立つヘルパー研修」
～ポジショニングを学ぼう（仮）～

平成 29 年 12 月 13 日（水）18：30～20：30

会場：研修センター

会員事業所 登録ヘルパーさん対象 30 名

協力福祉用具部会

◆【世田谷地域部会】

- 1) こまフェスタに参加

平成 29 年 11 月 3 日（金）

- 2) 赤十字介護研修に参加

平成 29 年 12 月 16 日（土）

- 3) 経堂すずらん通りほっとステーションに参加

平成 29 年 11 月 8 日（水）及び 12 月 13 日（水）

◆【福祉用具連絡会】予告

「福祉用具機器展 in 世田谷（仮題）」

平成 30 年 2 月 16 日（金）

会場：成城ホール

いろいろな福祉用具を見て触って試せます！

◆【通所連絡会】

- 1) 「口腔ケアで介護は変わる」

平成 29 年 11 月 22 日（水）19：00～21：00

会場：成城ホール集会室 C・D（定員 90 名）

講師：桐原仁子氏（歯科医師）

会員無料、非会員資料代 1,000 円

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

- 1) ケアマネジャー研修【現任 2】

事例演習 2 日間（第 1 回目）

平成 29 年 11 月 1 日（水）14：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

- 2) ケアマネリーダー養成（6 日目）

平成 29 年 11 月 1 日（水）14：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

- 3) 介護職員（現任）一人ひとりに適したケアを目指して

平成 29 年 11 月 9 日（木）14：00～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

- 4) 多職種で学ぶところとからだの理解【第 3 回】「人間理解～A さんから学ぶ」

平成 29 年 11 月 15 日（水）14：00～18：00

会場：成城ホール集会室 CD

- 5) サービス提供責任者（現任）

「介護が伝わる言葉を学ぶ～サービス内容を適切に伝えるために～」

平成 29 年 11 月 17 日（金）18：30～20：30

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

- 6) 新任職員

平成 29 年 12 月 7 日（木）、8 日（金）

9：30～17：00

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

- 7) リーダー養成マネジメント研修

平成 29 年 12 月 12 日（火）18：00～20：30

会場：世田谷区福祉人材育成・研修センター

- 8) 認知症ケア研修【基礎 6】

平成 29 年 12 月 13 日（水）14：00～17：00

会場：烏山区民会館 集会室

☆印のイベントの問い合わせは、事務局まで。

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月奇数月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話：03(5429)3100、FAX：03(5429)3101

編集後記

◆5 地域の活動が活発になってきたことにお気づきでしょうか。地域包括ケアなる言葉を持ち出すまでもなく、地域の連携力が問われる時代になってきました。

◆来年は介護保険法改正の年です。事業者として発言できるように力をつけましょう。（KT）